

世界展開力強化事業  
東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

## 国際セミナー I

# 魅力ある海外研修プログラムの構築を目指して ～タイ研修参加学生からの報告～

2012年12月14日



東京医科歯科大学  
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

## 目次

ページ

I	タイにおける海外研修について	2
II	海外研修報告会	3
	1. 報告会の様子	4
	2. 学生によるタイ研修についての発表	6
III	発表スライド	23
IV	アンケート用紙	45
V	アンケート調査結果	46
VI	まとめ	51

## I タイにおける海外研修について

平成24年9月3日～9月10日、東京医科歯科大学歯学部学生10名(歯学科4年生6名、口腔保健学科4年生4名)が、タイにおいて海外研修プログラムに参加した。その研修内容と研修目的は以下のとおりである。

- ① タイの歯科保健システムや歯科保健状況を理解する(タイ教員による英語講義)
- ② タイの歯科医療について理解する(大学附属病院や開業歯科医院の見学)
- ③ タイの歯学教育について理解する(歯科大学の見学)
- ④ タイの歯学部学生や教員との交流を通して、英語によるコミュニケーション能力を向上させる
- ⑤ タイの歴史、文化、習慣、言語等を理解する(異文化理解)
- ⑥ タイの大学で日本語を学習している学生に、日本文化の紹介や日本語指導支援を行う(SENDプログラム: Student Exchange Nippon Discovery)
- ⑦ バンコクにある日本人の幼児が通う幼稚園において歯科健康教育、歯磨き指導を行う
- ⑧ バンコク日本人学校に通う児童生徒とその保護者を対象とした海外公開講座(歯の健康セミナー・歯の健康相談会)で、教員の活動を補助する
- ⑨ JDAT(The Japan Dental Alumni of Thailand)の会に参加して、本学の元留学生らと交流し、ネットワークづくりを行う

上記の活動を通して、学生が国際活動に対して興味を持ち、将来、グローバルな課題に対応できる歯科医師、歯科衛生士となるための動機づけを行うことが本研修の目的である。

なお、学生による海外研修の内容は、「歯学部学生海外研修報告書」としてまとめ、平成24年10月に発行した。次年度からは、大学の世界展開力強化事業「東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム」の中で、同様な海外研修プログラムをタイ、インドネシア、ベトナム等で実施していく予定である。また、参加学生に対して、英語等の事前学習の期間も含めて単位認定を行う計画である。

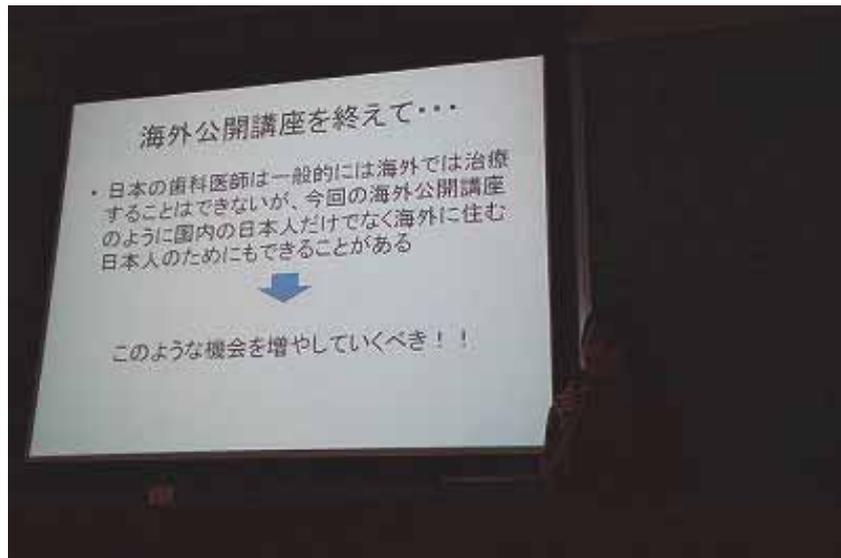
## II 海外研修報告会

平成24年12月14日(金)、タイにおける海外研修に参加した歯学科4年生6名が報告会を実施し、自分たちの体験を歯学科3年生に伝え、次年度に向けて動機付けを行った。報告会終了後には、聴講した学生にアンケート調査を実施し、今後、魅力ある海外研修プログラムを提供していくための情報収集を行った。本書は、その内容を記録したものである。

発表学生	2302	秋草宏伸
	2307	内川雄太
	2315	川村梨恵
	2319	呉 圭哲
	2321	河野吏紗
	2344	松本拓也

## 1. 報告会の様子





## 2. 学生によるタイ研修についての発表

(司会) これから大学の世界展開力強化事業の国際セミナー「魅力ある海外研修プログラムの構築を目指して～タイ研修参加学生からの報告～」を開催いたします。

今年の9月にタイ研修に参加した先輩の4年生6名が、皆さんたちにタイ研修の内容について報告いたします。最後に皆さんたちがもし来年行くとしたら、どのような研修にしたいかなど、本研修プログラムの内容をより良く改善していくためにアンケート調査を行って、皆さん方の意見を聞きたいと思います。それでは順番に6名が発表いたします。

### #1 (＃に続く番号は23ページ以降のスライドに対応しています)

僕たち歯学科の6人は約1週間、タイにおいて歯学部を代表して海外研修をしてきました。本日はこの研修について発表いたします。歯学部歯学科4年、呉圭哲と申します。

### #2

研修期間は約1週間で、タイの首都、バンコクに行ってまいりました。このプログラムでは東京医科歯科大学から海外研修奨励金をいただいて、1週間、僕たちは研修に参加することができました。

### #3

こちらが東京医科歯科大学基金からの奨学金伝達式の写真です。僕たちは学長先生から本研修に参加することを認められ、こちらで式典に参加しました。

### #4

参加学生は、こちらにおります6人のD4と、口腔保健学科4年生の4人の、合計10名です。

### #5

こちらがこれからお話を頂くアウトラインです。期間は1週間で、チュラロンコン大学と、シーナカリンウィロット大学で研修をしました。また、在タイ日本人の園児が通園している、レインボー幼稚園という幼稚園で健康教育を行いました。健康教育は、あらかじめ東京医科歯科大学で準備をしてから、幼稚園で健康教育を行いました。さらに、タイで開業している歯科医院や病院などの見学に行く機会にも恵まれました。

このような様々な研修内容を、これから6人で順番に発表いたします。

チュラロンコン大学という名前は、皆さんも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。はじめに、チュラロンコン大学での研修について僕から発表します。

## チュラロンコン大学 (CU) での研修

### #6

チュラロンコン大学には、2日目と5日目の2回訪問して研修する機会がありました。2日目の午前中は、チュラロンコン大学のトンチャイ先生による、タイの歯科医療についての講義を受けました。

午後はチュラロンコン大学の6年生が研修に協力してくださり、今回のチュラロンコン大学での研修においてどのような診療科を見学したいか、また、どのような所を見学したいかなどについて学生同士でディスカッションをし、当日と5日目の研修内容を決めました。このように、学生同士で話し合うということは大変良い機会でした。2日目は、6年生の技工室や、大学の博物館を案内してもらいました。

### #7

こちらはトンチャイ先生による講義の様子です。英語で講義を受け、後で質疑応答があったのですが、その中で幾つか興味深い内容がありました。

一つ目は、タイの歯科医師数です。タイの人口は6500万人程で、その中で、歯科医師は9600人程です。では、歯科医師1人当たり、どのくらいの人たちをみなければいけないのでしょうか。バンコクに関しては1200人の人たちが、計算上は患者さんになるようですが、実際に地方などに行くと2万5000人ぐらいたということです。地方では、圧倒的に歯科医師が少ないことがわかります。日本よりも地域の格差があると思いました。

また、歯学部はタイに7つあり、うち5つが国立大学だと教えて頂きました。国家試験のシステムも日本と違うことに驚きました。日本は6年生の時に一度ですが、タイでは4年生と6年生の時の2回、あるそうです。

さらに、歯科に関連する職種で両国に違いがあるものがありました。それは歯科衛生士です。タイでは、現在52人しか歯科衛生士がいないそうです。歯科衛生士の学校自体が廃止されてしまっているそうです。では、予防処置はどうしているのか、治療の補助はどうしているのかというと、衛生士さんの代わりにデンタルナースという職業があるとのことでした。この職種は簡単なう蝕の治療や抜歯もできるという職種で、それもタイ特有の職業ですので、興味深かったです。このように、午前中の講義ではタイと日本の歯科事情について色々な違いを学ぶことができました。

### #8

その日の午後は、6年生の学生に案内してもらい、人体博物館と言ってよいのでしょう

か、解剖の人体標本が色々な部位ごとに展示されている、日本でもありました「人体の不思議展」のような博物館に行きました。とてもリアルでした。

隣の写真は、チュラロンコン大の6年生の技工室です。東京医科歯科大学でいう5階の学生の技工室です。6年生の学生さんもこちらで模型を作ったり義歯を作ったりしているとのことでした。医科歯科の技工室よりも、広くて開放的でした。

#### #9

その夜、写真に写っているこの人達はタイの学生さん達なのですが、彼らに連れて行ってもらい、タイ料理を食べました。写真左側のお料理はプーパッポンカレーと言って、カニのカレーソースを絡めたようなもので、すごくおいしかったです。また、写真右側のレッドカレーはとても美味しかったことを覚えています。

#### #10

5日目は病院見学でした。見学させて頂いた診療科は、口腔外科・ペリオ・エンド・放射線・小児・審美の6つです。この6つは、僕たちが2日目の午後、学生と計画を立案した際に見学を希望した科です。こちらの写真が、そのときの病院見学の写真です。

本学は、5年の後期から病院実習があるのですが、チュラロンコン大学は4年生から臨床実習が始まるそうです。本学とは1年ぐらい差があり、そのような面での歯学教育は、本学よりも進んでいるのかな、と思いました。

#### #11

こちらが総合診断部と言って、最初に、まず患者さんが初診で診察される診療科です。こちらから必要な治療に応じて、各科に振り分けられるそうです。事務の人が学生に連絡をするらしく、その後学生に治療の配当があるそうです。

#### #12

こちらは外科治療をしている場面で、病院にはもちろん放射線のお部屋もあります。こちらは外科治療をしている写真です。遠くに見えるのは小児歯科で、子どもが馴染みやすいよう、ガラスが絵本のように彩られていて、外観が工夫されているなど感じました。

#### #13

こちらが審美歯科です。入り口からして他の科と違う雰囲気でした。とても綺麗でした。こちらにタイの仏像のような置物がありますが、下の棚には様々な審美で使用される材料が飾られていました。

こちらは図書館の写真です。図書館は本学にある図書館の方が少し広いかなと思いました。

た。

#### #14

ほかにも、病院だけでなく、学校の中も案内して頂きました。こちらは臨床系の実習室で、学年は何年生ですかと聞いたら、2年生でした。歯型彫刻のような実習をしていたのです。本学の歯型彫刻は、もしかしたら今後は2年生から始まるかもしれないのですが、皆さんの歯型彫刻は多分これからですよ。本学よりも少し授業の進行が早いなということもここでも感じました。

#### #15

最後にこちらはお昼に行った学食での写真です。活気があって、とにかく安かったです。こちらの抹茶ドリンクは日本円で35円くらいです。そしてこの料理4皿で、合わせて200円くらいでした。すごく安くしておなかいっぱい、おいしく最高でした。

以上で、チュラロンコン大学の報告を終わります。

### SWU（シーナカリンウィロット大学）大学・病院の見学

#### #16

続いて、シーナカリンウィロット大学での研修についてお話します。松本拓也と申します。シーナカリンウィロット大学も、チュラロンコン大学と同様に、医科歯科の歯学部と学術協定を結んでいる大学です。

#### #17

シーナカリンウィロット大学は、医科歯科とは違い、教育学部や理工学部もある、いわゆる総合大学でした。見学を行ったのは3日目で、具体的な内容ですが、午前中は歯学部の6年生の案内で病院の中や歯学部の大学の中を見学させてもらいました。

午後は、シーナカリンウィロット大学にある外国語学部で、その中の日本語学科の学生たちと、SEND program というプログラムに参加して交流を図りました。このプログラムは、Student Exchange Nippon Discovery のことで、日本文化の紹介をしました。

#### #18

シーナカリンウィロット大学の学内の見学ですが、6年生が3人に対して、僕たち医科歯科生が2人のグループで案内をしてもらいました。

#### #19

病院の中を見学させてもらおうとしたのですが、この日はたまたま休診日だったらしく、

診療しているところは見られませんでした。診療の内容や振り分けの方式はチュラロンコン大学と同じように、総合診療部から各科に振り分けられるそうです。

#### #20

実習風景もチュラロンコン大学と同じで、歯型彫刻などのような実習は2年生から始まるそうで、医科歯科よりも進んでいるなと感じました。

### 日本語学科における SEND program

#### #21-22

シーナカリンウィロット大学が用意してくださった昼食を食べまして、午後の日本語学科における SEND program に参加しました。

#### #23

はじめに、日本語学科のタイの学生が、日本語でいろいろなことをプレゼンしてくれました。1組目の2人は、タイの文化や地理、歴史、食べ物など、いろいろなことについてお話ししてくれました。

#### #24

2組目の2人は、日本語を普段どういうテキストを使って、どのように勉強しているのかについて教えてくれました。

#### #25

これが本題ですが、日本人の医科歯科生2人に対して、日本語学科の学生が3~4人のグループを作って、各自、日本語で話をしながら、日本の文化など、日本についての紹介をしました。

#### #26

普通に何も使わずに日常会話で、日本語を使いながら自己紹介や、日本のどういうところが好きかということをお話したりもしました。

#### #27

例えば僕は、iPadにあらかじめ日本の清水寺やスカイツリーの写真を入れて、タイの学生に「これはどこでしょう」という形で、クイズを出しました。

#### #28

彼は日本の文化、柔道や剣道、茶道などについて話をしました。

#29

最後はタイの伝統的な盆踊りをみんなで踊って、仲良くお別れしました。以上です。

### レインボー幼稚園における歯科健康教育および歯磨き指導

#30

ここまでで大学の話は終わりです。次に、レインボー幼稚園における歯科健康教育および歯磨き指導について発表させていただきます。担当の内川雄太と申します。

僕たちのタイ研修中での大きなメインイベントの一つとして、レインボー幼稚園でタイ在住の日本人の息子さん、娘さんたちに、歯科健康と歯磨き指導をするという機会がありました。

#31-32

今回の健康教育では、歯磨きの大切さや、手洗い、うがいの大切さなどを教えることが中心でした。それをどのように園児の皆さんに教えるか、研修に行く前に全部で5回集まって話し合いをしてから、本番に臨みました。

#33

A班とB班で5人ずつ分かれて、教え方などを考えました。

#34

僕は5歳児対象のA班だったので、5歳児が興味を持ってもらえるように、班のメンバーで内容を考えました。やはり幼稚園児にとって30分間、説明などを聞かせるのは長いだろうという意見がまず上がりました。また、静かに聞くのは難しい。5歳児に歯ブラシを持たせるのは、振り回したり転んだりしたら危ないかなという意見が出ましたので、シアター形式で、まずは聞いてもらう方が良いのではないのかなという結論に達しました。歯磨き指導は、目が届くように少人数に分けて、僕たちが必ず1人は付けるように企画しました。

僕らの班は好き嫌いをなくそうというのと、手洗い、うがいは大事だよというのと、歯磨きをしましょうという三つのテーマを、30分かけて説明したのですが、その中で一番伝えたかった「歯磨きは大事ですよ」というところのビデオを持ってきました。

言葉で説明するのは難しいので、実際の映像を見ていただきたいと思います。

でも今、君たちがそのままの状態で見たら、「こいつら、何やってるんだ」と思うと思うので、5歳児になりきって見てください。

(ビデオ上映)

### #35-36

その後に、歯磨きマンの下りから、ブラッシング指導に移ったのですが、先ほども話したように、みんな一人一人が別々のグループに分かれて3~4人に対して指導しました。

## 病院・医院見学

### #37

私からは、病院・医院見学についてお話しさせていただきます。河野吏紗と申します。レインボー幼稚園に行った日の4日目の午後に、タイで開業されている先生方にご引率いただき、タイの開業歯科医院の見学に行きました。

### #38

このように三つのグループに分かれて、それぞれ別の開業歯科医院へ連れて行って頂きました。

### #39

まず、A班はチョルタッチャ先生という方に、敬愛デンタルクリニックという所とサミヴェート病院の歯科に見学に行きました。

### #40

こちらが敬愛デンタルクリニックという病院です。こちらはタイに住んでいる日本人の患者さんを主に治療している歯科医院ということで、日本語の表示もたくさんある病院でした。

### #41

こちらが歯科医師のスケジュールです。医科の病院ではよく先生のスケジュールが、何科、誰々先生、何曜日と書いてあると思うのですが、ここの歯医者さんでは歯科医師が、いつ、どの先生がいるかというのがこのように掲示されていて、面白いなと思って、取り上げてみました。

### #42

こちらが診療ユニットになっています。こちらは半個室のタイプで、個室ではないのですが、ほかのユニットとは区切られていました。きれいで広がっています。

#### #43

A 班の集合写真です。4 人ずつぐらいのグループに分かれて、それぞれ病院見学をしました。

#### #44

こちらがサミヴェート病院の歯科です。こちらの病院は、富裕者層向けの総合病院だそうで、歯科以外にも、内科や小児科などもたくさんあったようです。私たちは歯科を中心に見学しました。

#### #45

サミヴェート病院の歯科の内観です。全体の内観ではなくて、歯科の内観です。こちらの写真からも、高級感を感じて頂けるかなと思います。

#### #46

内観です。歯科なのですが、右下の写真のように、健康チェックができるような機械が待合室の所に置かれており、健康を気にされている方は、歯科以外でもいろいろチェックできる施設がありました。

#### #47

こちらの病院は、日本によくある歯医者さんのようにユニットが並んでいるのではなく、お部屋ごとに先生が 1 人ずついるというスタイルになっています。こちらが、医科歯科に以前留学されていて、タイに戻られて歯医者さんをされているアティパン先生のお部屋です。

#### #48

そのお部屋の中です。診療のユニットと、診察でお話をするスペースが分かれていて、かなり広く、日本の歯医者さんとは全然違うなということが分かりました。

#### #49

こちらがサミヴェート病院の小児科です。子どものために、すごくかわいい内装になっていました。

#### #50

こちらもすごくかわいい内装です。

#### #51

こちらがサミヴェート病院の全体の内観です。ここからいろいろな科に分かれて行くそうなのですが・・・まるでホテルみたいな感じです。

右下の写真にインターナショナル・カスタマー・サービスと書いてあるのですが、こちらにはいろいろな外国語を話せるスタッフが常に駐在しているそうです。こちらの病院はいろいろな国のお金持ちの方がいらっしゃるようで、このようなサービスもあるそうです。

**#52**

バリアフリーもちゃんとしていました。

**#53**

外観です。ホテルみたいな感じです。

**#54**

内観です。

**#55**

私はB班だったのですが、B班は、先ほど見てきたシーナカリンウィロット大学のナロンサック先生という方に案内していただいて、Dr. DENTIST という所と、Asoke Place Dental Clinic という歯科医院に行きました。ナロンサック先生は日本語がとても上手で、英語で話す必要がなくて、私たちはすごく楽でした。

**#56**

こちらが Dr. DENTIST という歯医者さんです。

**#57**

外国人がたくさん住んでいるエリアにあるそうで、患者さんは外国人の方が多くそうです。日本人が半分以上と伺った、と記憶しています。

診療時間は、月曜から土曜は9時から22時、日曜は9時から17時で、日本の歯医者さんよりも長いなと思いました。

**#58**

こちらが受付です。エステみたいな感じで、歯医者さんという印象は受けませんでした。受付のお姉さんもすごくきれいでした。

**#59**

廊下です。とてもきれいでした。

**#60**

こちらがユニットです。こちらの病院ではすべて個室のユニットになっていました。プライバシーなどはすごく守られているという感じがしました。

**#61**

クリーンルームです。器具などの殺菌や消毒をするお部屋で、専用のお部屋が、普通の歯医者さんの中の部屋の一つになっていました。

**#62**

こちらがナロンサック先生の Asoke Place Dental Clinic という病院です。こちらも日本人の患者さんがかなり多いそうです。

先生自身もすごく日本語がお上手なので、日本人がたくさん集まってくるのだと思います。

**#63**

こちらがナロンサック先生です。

**#64**

病院の内観です。日本の歯医者さんのように、落ち着いた感じで、日本語が書かれた置物などが置いてあったりして、私自身もすごく落ち着きました。

**#65**

こちらは診療ユニットで、半個室になっています。こちらも隣のユニットとは区切られているので、プライバシーもすごく守られている感じがしました。

**#66**

治療費のリストを撮ってみたのですが、バーツで書いてあるので分かりにくいと思うので、日本円にしてみました。

**#67**

日本円にしたら、大体、日本でやる保険外の治療と同じぐらいの値段がかかっているのだということが分かりました。向こうにいると多分、日本の保険はそのままは使えないので、このような値段になるのかなという感じがします。

インプラントやホワイトニングは、日本でも保険外の治療なので、大体同じぐらいの値段か、ちょっと安いぐらいで、タイでは受けられる感じを受けました。

**#68**

歯科医院で見せてもらった矯正用のリテーナーです。研修中に気付いたのですが、タイの矯正の器具などはすごくカラフルなものが多くて、日本だとピンクがほとんどだと思うのですが、いろいろな色を選べるようです。ファッション感覚で付けている方もいらっしゃるようです。

**#69**

B 班の集合写真です。

**#70**

C 班は、アティパン先生に案内していただいて、富士 JDC 歯科医院と Dentaland、Bangkok Dental Imaging Center という所に見学に行きました。

**#71**

こちらが富士 JDC 歯科医院です。こちらの院長はアティパン先生で、日本人の患者さんがメインだそうです。

**#72**

こちらは Dentaland という歯医者さんで、こちらはタイの患者さんがほとんどだそうです。

**#73**

こちらが内装で、とてもきれいなことが分かります。

**#74**

ちょっと、椅子が面白かったので載せてみました。

**#75**

上がスタッフルームです。右下は椅子のようですが、かわいかったので載せてみました。

**#76、77**

こちらが Bangkok Dental Imaging Center で、ここでは世界でも数台しかない、口の中を 3D の画像に解析して、いろいろ診断することができる機械があるそうです。こちらがその機械だそうです。

**#78**

こちらが解析室になっています。これで病院の説明を終わります。

私たちは、行く前は、タイの病院は汚いのかなと思っていたのですが、私たちが見学した所はとてもきれいでした。見学させて頂いたところは日本人の患者さんがメインの所が多かったので、タイの患者さんがメインの所や、バンコク市外へ行ったらちょっと違うのかなと考えました。以上です。

## 海外公開講座（歯の健康セミナー・歯の健康相談会）

**#79**

私は海外公開講座についてお話しさせていただきます。川村梨恵と申します。

**#80**

最終日に、私たちが宿泊していたインペリアルクイーンズパークホテルの中で歯の健康セミナー、歯の健康相談会が行われました。これらの情報は事前にバンコク日本人学校に告知しており、その告知をみて興味を持って下さった方が来てくれました。

**#81**

ホテルには当日は看板が出ていました。

**#82**

歯の健康セミナーの目的は歯の健康に関する最新情報を分かりやすく伝えて、歯の健康を維持するために、家庭で実践できるセルフケアの方法を解説するもので、具体的には各外来の先生が自分の専門についてお話ししてくださいました。

**#83**

**#84-85**

こちらは学長先生のご挨拶です。写真の時間が12時15分と表示されていますが、こちらは日本時間で、実際タイでは10時ぐらいです。朝が早かったので参加者がはじめは少なかったのですが、だんだん午後になるにつれて増えてきたので、良かったなと思いました。

**#86**

こちらは川口先生がお話しされているところです。

**#87**

同時に歯の健康相談会も行っていました。本相談会では、医科歯科の歯科医師とタイ人の歯科医師がペアになり、在留邦人の歯と口の悩みや質問に答えました。こちらは事前予約制で、事前に相談の内容をふまえ、医科歯科側で相談内容によってどちらの先生に対応して頂くか決めておき、当日参加者の方を各先生にご案内し、個別に相談して頂く形式で行われました。

**#88**

このように5つのブースが設置され、ブースごとに相談会が行われていました。

**#89**

日本の先生とタイの先生とがペアになっています。

**#90**

待ち時間の間に歯磨き指導を、歯学部生の私たちが、待っている園児や児童生徒に行いました。

**#91**

結構小さい子が多かったので、歯磨き指導だけでなく、鬼ごっこもやり・・・、私たちはくたくたでした。

**#92**

当日は先生方がメインでした。私たち学生の仕事は主に三つで、歯の健康セミナーの補助と受付、歯の健康相談会の誘導、児童・生徒への歯磨き指導を行いました。この係分担は、先生が決めてくださいました。

**#93**

受付です。

**#94**

秋草君が歯の相談会の受付をやって、かなりお疲れの様子です。

**#95**

日本の歯科医師は一般的には海外では治療はできないのですが、今回の海外公開講座のように、国内の日本人だけでなく、海外に住む日本人の方のためにも、私たちはいろいろできることがあるのだなと気付きました。このような機会がこれからもっと増えていくといいなと思います。

**#96**

海外公開講座に参加したスタッフ（とその家族）・学生の写真です。

**#97**

これはホテルのビュッフェですが、泊っていたホテルで、いつもおいしそうだなと横目で眺めていたビュッフェが最後に食べられて幸せでした。

## **事前研修と異文化理解**

**#98**

事前研修と異文化理解についてお話しさせていただきます。秋草宏伸と申します。

**#99**

海外研修の前には準備が必要です。僕をはじめ英語が苦手な人が多く、このままだとタイの学生と英語でコミュニケーションが取れないということで、まず、關先生による英語準備コースを履修しました。簡単な英会話から専門用語をはじめ、いろいろな授業を受けました。

#### #100

先ほど、これは内川君が発表していましたが、実際に健康教育をあちらで行う上で、きちんと準備するために、何回か集まって自分たちなりにいいものを作ろうと頑張りました。

#### #101

さらに危機管理という事前研修もありました。水はちょっと飲んではいけないという基本的なことから、注意事項をきちんと説明を受けて、実際にタイに行きました。

#### #102

タイの基本的な情報です。タイはご覧のとおり、東にカンボジア、北にラオス、西にミャンマー、南はマレーシアなどに接して、いろいろな国に接しています。人口は約 6000 万人、面積は日本の 1.4 倍程度で、言語は当然タイ語です。仏教が中心で、通貨はバーツです。1 バーツが大体 3 円です。

#### #103

実際、観光スポットはいろいろとあるのですが、今回は 1 日だけチュラロンコン大学の学生が三つ案内してくれました。

#### #104

一つはフローティングマーケットです。フローティングマーケットというのは水上マーケットで、本当はボートに乗って、川を流れて買い物ができるようですが、実際にボートに乗るのは高いですし、「現地の方は、そんなの乗らないよ」といわれ、僕たちは現地の人と同じように、周りの通路を歩いて買い物をしました。

#### #105

ご覧のとおり、結構にぎわっています。こちらではいろいろ売られていて、何かよく分からない果物とか、鳥が丸ごと置いてあったりして面白かったです。

#### #106

こちらもおいしそうなものを食べているのですが、結構甘いです。タイは辛いものが多いのですが、逆にスイーツ、お菓子などはかなり甘いので、注意して召し上がってください。

#### #107

ワット・プラケオでの一枚です。

#### #108

こちらもある有名なタイの王宮のようなもので、門番の方と、取りあえず記念撮影をして。

## #109、110

タイの歴史が描かれた壁画がありました。また、様々な置物や、像も見ることができました。

## #111

タイのお寺というのは日本と違って、きらびやかで華やかな建物が多く、また違う趣があると思います。

## #112

アンコールワットのミニチュアなどもあつたりして面白かったです。

## #113

ワット・プラケオというのは、エメラルド寺院という別名があるらしく、この本堂の方に、本当はエメラルド仏という、とてもありがたい仏像さまがいらっしゃるのですが・・・撮影禁止で外からしか撮れず、小さくなってしまいました。1回、生でぜひ見てみてください。

## #114

本堂に入る前に、体に聖水をかけて清めることはよく耳にされませんか？こちらでは蓮の花を使って清めるそうです。興味深かったため、載せました。

短いスカートなどをはいてきてしまった女子は、それでは駄目だということで、長いスカートに着替えました。

## #115-117

ワット・ポーです。ワット・ポーも有名なお寺で、こちらが入口です。

## #118

こちらでは寝転がっている仏像さまが有名だそうなのですが、全長が50mぐらいあって、とても入り切らないので、頭と足だけを載せました。

## #119

観光客丸出しなのですが、みんなでまねしています。

## #120

この研修は、昼間は充実したプログラムがあるのですが、夜はフリーな時間があったので、みんなで外に繰り出すこともできました。

## #121

屋台で食事をしたりしましたが、大体1食50バーツとか、150円ぐらいで食べられるの

で、すごくお得でした。

#### #122

タイはマッサージがすごく有名なのですが、2時間のマッサージで、伝統的なタイ古式マッサージをはじめ、フットマッサージやフェイシャルマッサージなどがいろいろあります。

#### #123

これが実際にフェイシャルマッサージを受けているところで、上にマッサージをしてくれている女性の方々がいらっしゃるのですが、時々男性の方もいるので、そこは注意していただきたいです。

#### #124

タイの食事に飽きてしまったら、吉野家やサブウェイもあるので心配は要らないと思います。

#### #125

これはタイでも多分かなり大きなショッピングモールだと思いますが、右下にある青いものはドラえもんです。

#### #126

ドラえもんは、この日にマイナス100歳の誕生日。タイでは、ドラえもんがすごく人気があるようで、皆さん盛り上がっていました。ジブリ作品やAKBなども大好きのようで、日本の文化の広まりを感じ、嬉しかったです。

本研修を通して、まずは学生同士の交流ができ、歯学部を見学できたこと、加えて昔ながらのタイと今の新しいタイのように文化にもふれられたことなど、様々なことを経験し学ぶことができました。この経験はとても素晴らしいものだった、貴重なものだったと今深く強く感じています。この機会は来年もあると思うので、ぜひ参加してみたいでしょうか。ご清聴ありがとうございました。

### 質疑応答

(司会) お疲れ様でした。本研修は、来年もあります。来年度以降はタイだけでなく、インドネシアやベトナムでの研修も計画に入れています。

今回は歯学部としては初めて、大学がサポートする形で海外研修を行いました。本来、海外研修は、いろいろな機会を通して自分たちで行ってみたいのですが、今回は、彼

らがパイオニアとして参加してくれたので、その研修内容を発表してもらいました。

皆さんたち3年生から、4年生に対して何か質問があったら、少し受けたいと思います。  
何かありますか？

- (Q) 本日は発表をありがとうございました。タイの歯科事情を、いろいろ病院やクリニックで見てこられたということですが、タイの歯科医療と日本の歯科医療を比べたとき、日本のいい点、悪い点はどのようなものと感じられましたか。
- (A) ご質問ありがとうございます。日本の医療は歯科医療に限らずですが、保険制度がすごく整備されていて、全員に保険の適用が行き渡るシステムだと思います。タイは、全国民をまかなうことがまだできておらず、その点においてまだ見直しの余地があるようです。
- (Q) 日本の悪い点と感じられるのは、いかがでしょうか。例えばタイにおける診療室でのプライバシーなどについて非常に言われていましたが。
- (A) そうですね。僕らが見学した限りでは、タイの歯科医院の診療室は個室で区切られている場所が多く、日本ではどちらかと言うと、もう少し開放的と言うか、半個室なので、プライバシーなどはタイの方が守られていたかなという印象を受けました。
- (Q) ありがとうございます。

(司会) 他にありますか。よろしいですか。それでは4年生の皆さん、ご苦労さまでした。3年生はアンケート用紙を提出してください。また、今後海外研修の募集があると思いますので、ぜひ参加してほしいと思っています。  
では、今日のセミナーを終了いたします。

## 大学の世界展開力強化事業 国際セミナー

魅力ある海外研修プログラムの構築を目指して  
～タイ研修参加学生からの報告～

1

## タイ研修概要

- 研修期間  
2012年9月3日～9月10日
- 派遣場所  
タイ(バンコク)
- 参加学生10名
- 本研修は、東京医科歯科大学基金より助成金をいただき、行われました。

2

## 東京医科歯科大学基金 交付式



3

## 参加学生

- 歯学科4年生 6名  
秋草宏伸、内川雄太、川村梨恵  
呉圭哲、河野吏紗、松本拓也
- 口腔保健学科4年生 4名  
尾花三千代、佐藤未奈子、  
竹ノ内茜、内藤美生

4

## チュラロンコーン大学(CU)での研修

5

Day 2: AM Dr. Thongchaiによる講義  
PM Dental museum, Museum of  
Human body の見学

Day 5: CU(歯学部付属病院等)  
の見学



6

## Dr.Thongchaiによる講義



- タイの歯科医師数—地域格差
- タイの歯学部と国家試験
- Dental Nurseという職種が存在

7

## 大学内ツアー



8

## Thai Dinner!!



9

## CU歯学部見学



- 見学した科→口腔外科、ペリオ、エンド、放射線、小児、審美 の6つ
- 4年生から病院にて臨床実習

10

## 総合診断部から振り分け



11





13

臨床系の実習は2年生から



14

学食ーとにかく安い！



シーナカリンウィロット大学  
(SWU)での研修

16

Day 3:

AM 歯学部6年生の案内による大学・病院の見学

PM 日本語学科においてSEND programに参加  
(Student Exchange Nippon Discovery program)

17

SWU学内・病院の見学



18



②5グループに分かれて日本文化の紹介、日本語での会話を行う



25



26



27



28

③タイの盆踊り



29

レインボー幼稚園における  
歯科健康教育および歯磨き指導

30

## 事前研修プログラムの流れ

- 全5回(7/2,9,20,23,30 各1h)
- 5名ずつA班(5歳児対象)とB班(4歳児対象)の2グループに分かれ、年齢に適した指導方法を考え、30分間のシナリオを作成する。
- 研修直前に先生方の前で発表、改善点の指摘を受ける。(8/29)
- 改善点を修正し、本番。(9/6)

31

## 5歳児対象のA班の場合

幼稚園児にとって30分間はかなり長い時間・・・  
静かにいい子に聞くのは難しいかも・・・  
5歳児に歯ブラシ持たせるの危なくないかな・・・

ということで

シナリオは興味をそそる**シアター形式**で☆☆  
歯磨き指導は目の行き届く**少人数グループ**で☆☆

32

それでは、実際の映像をご覧ください。

33



34



35



36

## 病院・医院見学

37

9月6日(木) 午後

3つのグループに分かれて、タイ人の歯科医師の先生にタイの開業歯科医院へ連れて行ってもらい、見学をしました。

A班	川口先生、小野田さん、後藤さん 川村、松本、竹ノ内
B班	森尾先生、關先生 秋草、内川、河野、内藤
C班	福井先生、横森さん 呉、尾花、佐藤

38

A班.

チョルタッチャ先生による案内

- \* 敬愛デンタルクリニック
- \* サミヴェート病院歯科

39

## 敬愛デンタルクリニック



40

・歯科医師のスケジュール

患者さんが、いつどの先生がいるかが分かるようになっています。



41



診療ユニット(半個室)

42



A班集合写真

43

## サミヴェート病院歯科

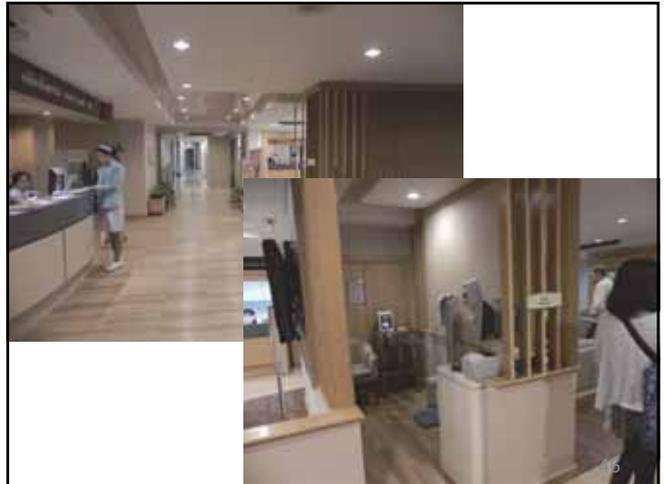


44



サミヴェート病院歯科内観

45



46



47



診療ユニット(全て個室)

48



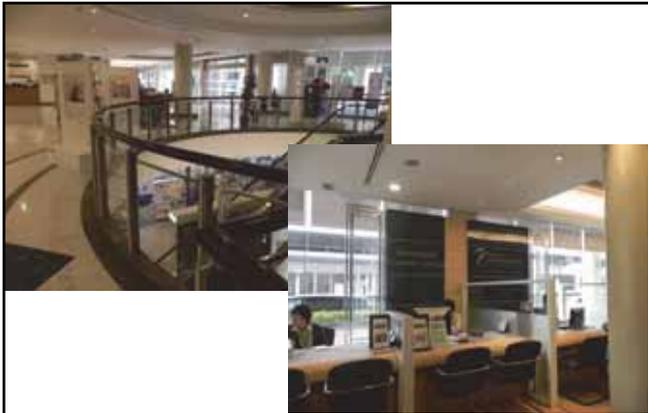
小児科

49



小児科

50



サミヴェート病院内観

51



52



サミヴェート病院外観

53



54

B班.  
ナロンサック先生による案内

- \* Dr. DENTIST
- \* Asoke Place Dental Clinic

55

## DR. DENTIST



56



・診療時間

月曜～土曜  
9時から22時

日曜  
9時から17時

57



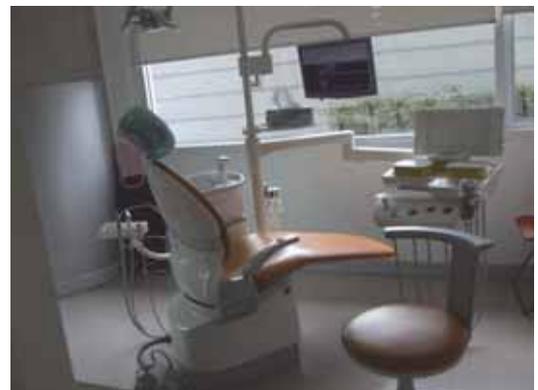
・DR. DENTISTの受付

58



・診療室へと続く廊下

59



診療ユニット(全て個室)

60



## 治療費比較

治療内容	アソックプレイス (保険外)	日本での治療費
全部床義歯	約2.6~3.2万円	保険内:1万円 保険外:1~5万円
歯冠修復 (Ni-Cr合金クラウン)	約2.4万円	保険内:3000~5000円 保険外:2~5万円
感染根管治療	約1.6~1.8万円	保険内:1400円~3100円 保険外:1~30万円
インプラント	約20万円	保険外:15~50万円
ホワイトニング (オフィスホワイトニング)	約1.9万円	保険外:2~10万円

67



カラフルな矯正用の口蓋床

68



B班集合写真

69

C班.

アティパン先生による案内

- \* 富士JDC歯科医院
- \* Dentaland
- \* Bangkok Dental Imaging Center

70

## 富士JDC歯科医院

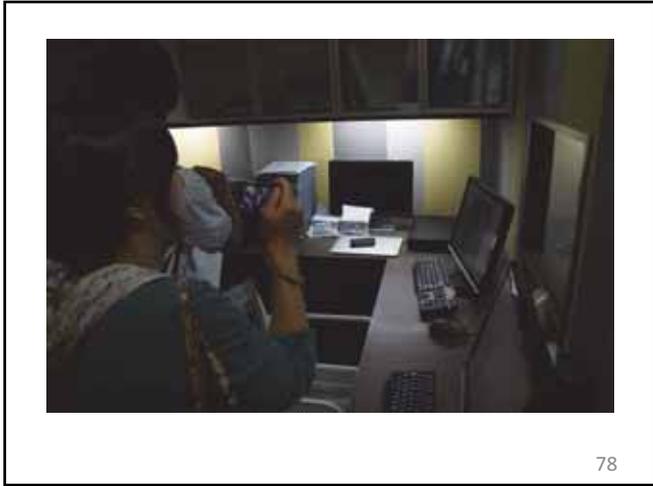
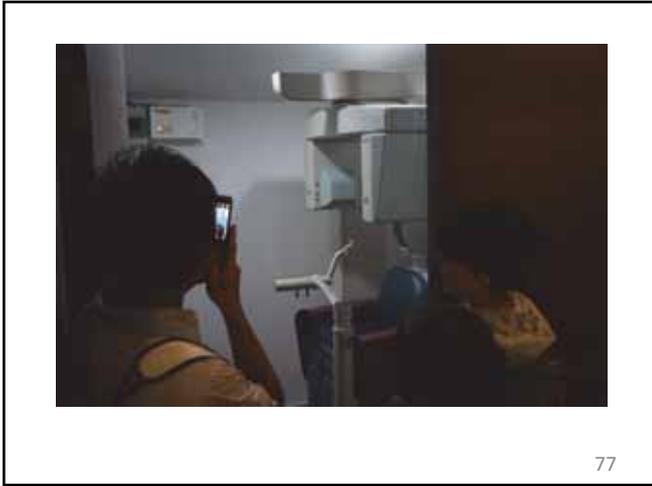


71

## Dentaland



72



海外公開講座  
(歯の健康セミナー・歯の健康相談会)

Day 7

79

9月9日(日)10:00~16:00@Imperial Queen's  
Park Hotel

- ・ 歯の健康セミナー
- ・ 歯の健康相談会
- ・ 歯磨き指導

\*事前にバンコク日本人学校に告知

80



81

## 歯の健康セミナー

目的:歯の健康に関する最新情報を分かりやすく伝え、歯の健康を維持するために家庭で実践できるセルフケアの方法を解説する

- 1, 東京医科歯科大学タイ拠点について  
国際交流センター長: 森尾郁子先生
- 2, むし歯を予防するには?歯の生えかわりはいつ  
小児歯科外来: 小野芳明先生
- 3, 矯正歯科治療の基礎知識 ~成長期の注意点を中心に~  
矯正歯科外来: 松本芳郎先生

82

- 4, 息さわやかですか? ~口臭予防の基礎知識~  
息さわやか外来: 川口陽子先生
- 5, 自然な白い歯になろう ~ホワイトニングの基礎知識~  
むし歯外来: 関奈央子先生
- 6, 歯ぎしり、金属を使わない歯科治療  
義歯外来: 福井雄二先生
- 7, 歯周病の予防と治療  
歯周病外来: 小林宏明先生
- 8, 口腔がんのセルフチェック ~早期発見のポイント~  
口腔外科外来: 中島雄介先生
- 9, インプラント治療とは何でしょう ~喪失歯に代わる人口の歯~  
インプラント外来: 黒田真司先生

83



84



85



86

### 歯の健康相談会

目的:日本人歯科医師(東京医科歯科大学の教員)とタイ人の歯科医師がペアとなって、在留邦人の歯と口の悩みや質問に答える。

\* 事前予約制

87



88



89

### 歯磨き指導

目的:希望する児童生徒に、歯学部生が歯磨き指導を行う。



90



91

## 当日の学生の仕事

- 歯の健康セミナーの補助・受付
- 歯の健康相談会の誘導
- 児童生徒への歯磨き指導



92



93



94

## 海外公開講座を終えて・・・

- 日本の歯科医師は一般的には海外では治療することはできないが、今回の海外公開講座のように国内の日本人だけでなく海外に住む日本人のためにもできることがある



このような機会を増やしていくべき！！

95



96



97



98

## 事前研修と異文化理解

99

## 事前研修

～海外派遣英語準備コース～

回	講義内容
1	オリエンテーション
2	English conversation 1
3	English conversation 2
4	Dental terminology & Clinical dental English 1
5	Dental terminology & Clinical dental English 2
6	Dental terminology & Clinical dental English 3
夏期集中講義	English Conversation, Reading, Listening and Writing

100

## 事前研修

～健康教育準備コース～

回	内容
1	対象幼稚園の状況、園児(4.5歳児)の発達段階 現地の状況、タイで暮らす日本人幼児の生活の確認
2	テーマの決定、必要な教材の選択
3	健康教育の流れ、シナリオ・教材の作成
4	シナリオの確認、教材の作成、練習
5	リハーサル、評価、意見交換、修正
6	全体練習
7	最終確認

101

## 事前研修

～危機管理～

- ・海外研修時の注意事項
- ・タイ滞在時の飲食物の注意
- ・体調の管理法
- ・交通機関の利用法
- ・文化、習慣、宗教等の違い
- ・緊急時の連絡先

102

# タイ Thailand



～基礎知識～

人口:約6000万人  
 タイ族85%,中華系10%,その他5%

面積:約51万4000km<sup>2</sup>  
 (日本の約1.4倍)

言語:タイ語 **ภาษาไทย**

宗教:仏教

通貨:バーツ  
 (1バーツ=約2.67円)



103

これだけはおさえない観光スポット BEST バンコク観光 with CU6年生!



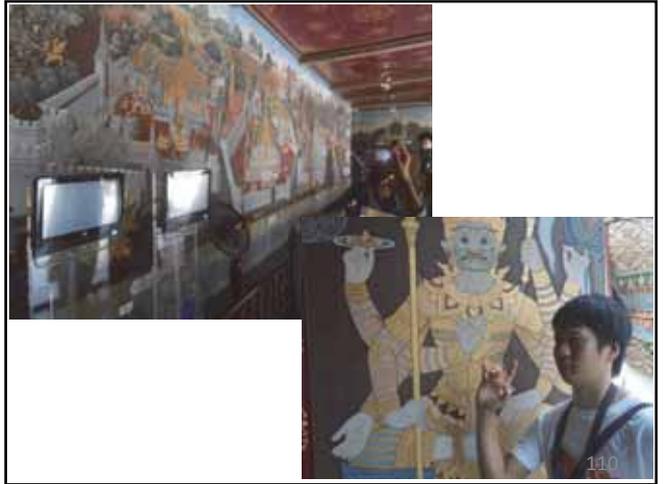
王宮-寺院-道徳 博物館-美術館 水上マーケット ナイマーケット エアポートリンク  
 サイラムスクエア シーロム通り ガオサン通り チャイナタウン ワットプラクオ(CE20)  
 動物園 公園 アコタヤ バイヤ プーク

104





109



110



111



112

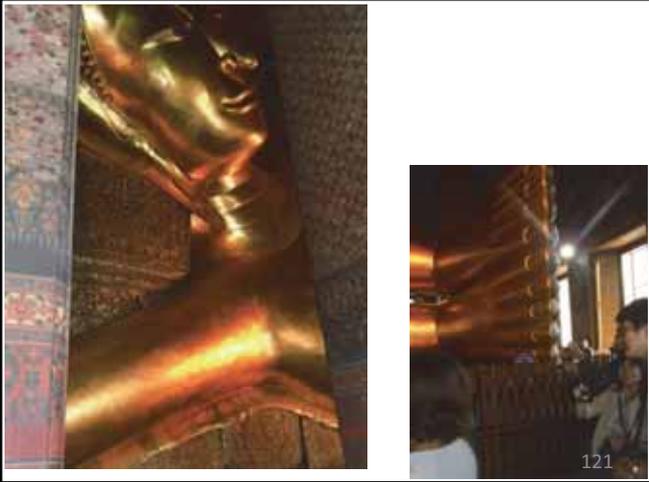


113



114







#### IV アンケート調査用紙

##### I タイ研修の報告で、あなたは何に興味を持ちましたか？（複数回答可）

1. 大学訪問（学内ツアー、病院見学、学生実習など）
2. 現地の教員による英語講義
3. SEND プログラム（現地の学生への日本語、日本文化の紹介）
4. 開業歯科医院の視察
5. 現地の幼稚園での健康教育、歯磨き指導
6. 海外公開講座（歯の健康セミナー、歯の健康相談会、歯磨き指導など）
7. 現地歯科学学生との交流
8. 異文化理解（観光も含む）
9. 事前研修
10. その他\_\_\_\_\_

##### II あなたはタイ研修に参加したいと思いますか？（2013年9月上旬の予定）

1. 参加したい
2. 参加したいが不安がある
3. 参加したくない

##### III IIの質問に「参加したいが不安がある」「参加したくない」と回答した人にお聞きします。参加を躊躇する理由は何ですか？（複数回答可）

1. 語学力に自信がないから
2. 現地の治安に不安があるから
3. 海外研修には興味がないから
4. 他の国での海外研修には興味はあるが、タイでの研修には興味がないから
5. 個人研修には興味があるが、集団研修には興味がないから
6. 研修費用に不安があるから
7. 研修日程が合わないから
8. その他\_\_\_\_\_

##### IV 来年度は、タイ以外にインドネシア・ベトナムなどの研修候補地があります。

あなたは、どの国での海外研修に興味がありますか？（複数回答可）

1. インドネシア
2. ベトナム
3. その他（希望国\_\_\_\_\_）

##### V 海外研修では、Iに記載された項目以外で、どのようなことを研修したいと思いますか？

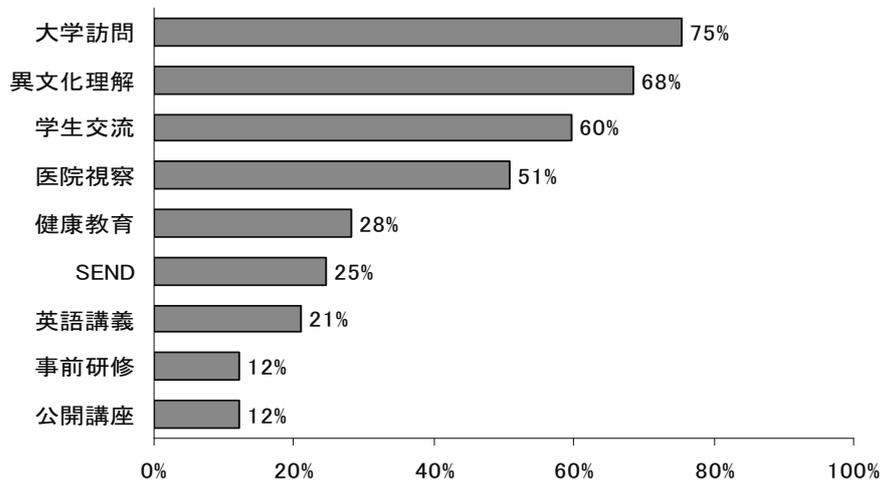
##### VI 本日の感想を自由に記載してください。

## V アンケート調査結果

報告会に対する学生の評価およびプログラムに対する学生の希望を調査するため、聴講した歯学部3年生に対し、アンケート調査を行った。対象者は57人で、回収率は100%であった。

### i) 歯学部3年生が興味を示した内容について（設問Ⅰ）

過半数の学生が、大学訪問、異文化理解、現地学生との交流、開業歯科医院視察に対して興味を示した。次いで、健康教育、SENDプログラム、現地教員による講義という結果であった。



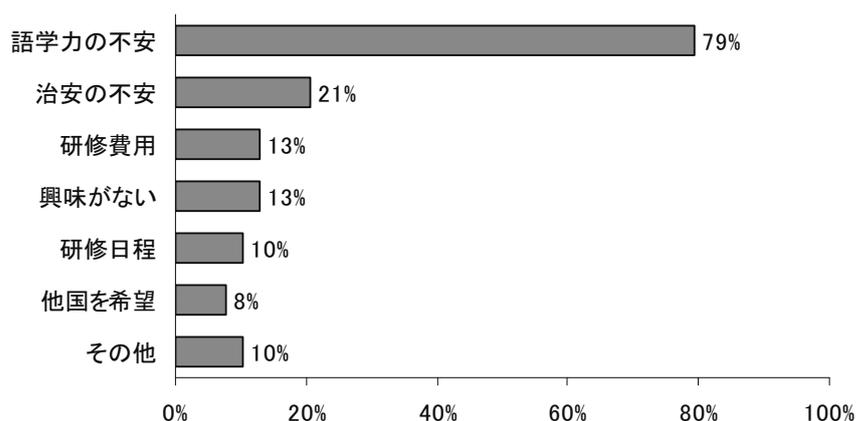
### ii) 来年度の参加希望について（設問Ⅱ）

来年のタイ研修参加希望者は約80%いたが、希望者のうち約6割が「不安がある」と答えた。

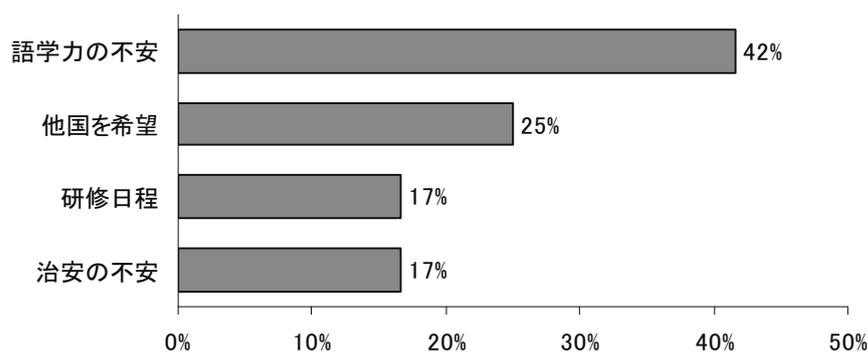


### iii) 参加を躊躇する理由について（設問Ⅲ）

「参加を躊躇する」と回答した（Ⅱ－２）39名の理由として、最も多く挙げられていたのは、語学力への不安であった。次いで、治安への不安、費用の不安、海外研修に興味がないという理由が挙げられていた。その他の理由としては、「研修の準備や研修後に行うタスクがどのくらいか不安」、「部活やアルバイトの兼ね合い」、「希望者が多そうだから」などがあった。

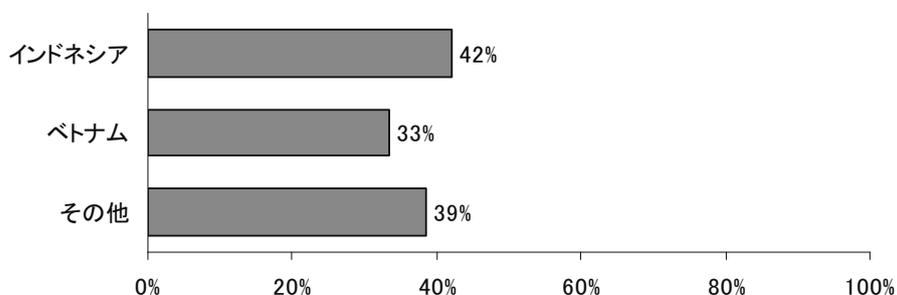


また、「海外研修を希望しない」と答えた12名の学生の理由としては、語学力への不安、タイ以外の国での研修を希望、研修日程の問題、治安への不安などがあつた。当プログラムへの参加を希望しない学生には、タイに興味を示さない学生の割合が多かつた。

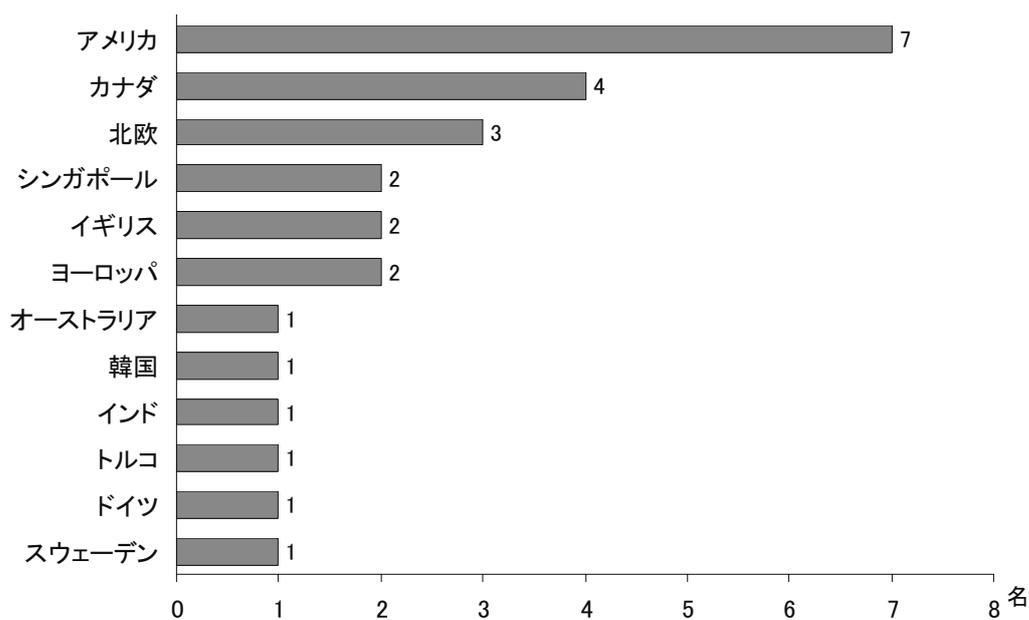


#### iv) タイ以外の研修先について（設問IV）

本事業ではタイ以外の研修先としてインドネシア、ベトナムがあるが、それぞれの国に対する研修希望は3、4割であった。一方、約4割の学生が研修先として他国を希望した。



他国を希望する学生が研修先として挙げた国や地域は、以下の通りであった。北米および北欧への希望が多いことが判明した。



#### v) プログラムへの希望について (設問V)

英語について

- ・ もっと英語を使う機会が、研修の中にあれば良いと思う
- ・ 同世代の歯科学生と英語で交流したい
- ・ 現地の歯学部生と、歯科医療について理想なのはどんな形かなどを英語で話し合ってみたいです

研修内容

- ・ タイの同学年の歯学生と交流したい。勉強や大学院に進むとか留学の話など
- ・ 可能であれば、診療の見学や大学授業への参加を行いたい
- ・ クラブ・大学生活の見学をしたい

歯科学生として

- ・ 現地の患者がタイの歯科医院に対して感じることを聞いてみたい
- ・ 治療方法、説明方法や海外での歯科予防啓蒙について知りたい
- ・ 最新のタイの医療政策やシステムについて議論してみたい
- ・ 先端の技術だけでなく、地方の歯科現状についても知りたい
- ・ 日本と海外の診療内容や医療制度についての違いなどを議論してみたい

#### vi) 報告会参加後の学生の感想 (設問VI)

研修への興味

- ・ とても興味深く聞かせていただきました。
- ・ 以前からこのプログラムのお話を關先生から聞いていたので、興味を持って聞きました。ただ英語だけでなく、大学見学をはじめ歯科医院の見学や幼稚園での歯磨き指導などとても楽しそうで、ぜひ来年応募したいです。
- ・ グローバル化が進む昨今、なかなか海外との交流がない歯学科でこのような事業があることに興味を持ちました。
- ・ 海外研修の具体的な内容を知ることができたので、もともとはあまり興味がなかったが、行ってみたいという気持ちが出てきました。海外の歯科事情を知ることだけでなく、現地の文化も触れることができるのが興味深かった。
- ・ 現地の方々との交流がたくさんできるのを知ったので、より研修に参加したいという

気持ちが強くなりました。

- ・ 自分の目でいろいろと見に行き、学べることはとても楽しそうだった。
- ・ 金銭面や語学面が不安で海外研修をすることは一生ないと思っていたが、今回の報告を聞いて行ってみたいとなった。
- ・ 幼稚園での歯磨き指導がとても楽しそうで、日本でもカリキュラムの一環で行えたらいいと思った。
- ・ 異文化に触れながら海外の歯科事情について学ぶ研修は大学のプログラムでないと実現できないいい機会だと思いました。
- ・ きっと充実した経験になると思うし、一生の思い出にもなると思いました。
- ・ 研修している先輩が楽しみながら参加していることが伝わってきて、楽しみながら勉強できるとてもいいプログラムだと思った。
- ・ D4の先輩方のプレゼンの上手さにびっくりしました。

英語について

- ・ 行くか行かないかにかかわらず英語を頑張りたいと思った。
- ・ 海外研修に参加したいと思ったが、今の英語力では通じないと思うので、勉強しようと思った。
- ・ 参加学生が本当に楽しそうに話していて、良かったのだろうなと思った。英語にもっと自信があったら行ってみたいと思う。

プログラム改善への意見など

- ・ 海外のことをもっと学べるプログラムにして欲しい。
- ・ 見て感じるだけでなく、問題意識を持って海外研修に行かないと、表面的なところしか分からないのではと感じた。
- ・ この研修自体が語学的な方向からのアプローチなのか、歯科技術や現状を把握するためのものなのか、ちょっとわからなかった。
- ・ タイの中で健康格差があるとの話だったが、それがどのような感じなのか知りたいと思った。
- ・ 文化の差や、タイの歯科についてももう少し詳しく知りたかった。せっかく現地にまで行っているのだから、学生の考えの違いや患者さんが求めているものなど、もっと現地の人との交流について詳しく聞きたかった。

## VI まとめ

本国際セミナーは、東京医科歯科大学の世界展開力強化事業「東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム」の一環として、タイのチュラロンコン大学での海外研修プログラムに参加した本学歯学部4年生が、来年度参加予定である3年生に向け、その概要を報告するとともに、学生の語学や国際交流への関心を引き出すために行ったものである。また、次年度からの海外研修の内容を改善し、学生にとってより魅力ある密度の濃い海外研修を構築していくため、セミナー終了後に受講学生に対してアンケート調査を実施し、フィードバックを行った。

学生アンケートより得られた知見として、学生の語学習得へ積極性が増したこと、国際交流への興味を誘起できたことは評価に値するが、その意見は往々にして客観的視点からのものであった。プレゼンテーションの際は、来年参加する学生の主体的な感覚を呼び起こすような工夫が必要と思われた。「英語をもっと使いたい」、「同学年の海外の学生と交流したい」、「現地の歯科事情を知りたい」という意見も多かったので、これらの要素を本研修に組み込むことで、今後学生の自発的な参加を促していきたい。

本プログラムでは学生の主体的活動が少なかったという4年生の学生の意見もあったが、事前研修システムについても、研修先の文化、民族、医療制度などを渡航前に学習する機会を与えることや、渡航先で現地講師による講義をより多く設定することで、研修先の教員あるいは同年代の歯学生とディスカッションできるような環境を整えていくことが重要であろう。また、研修参加学生に対し、事前研修の定着度合いを評価する機会を設ける必要もあると思われた。

海外研修への参加をためらう学生の多くが、語学力の不安を感じていた。一方で、事前の英語学習に対する学生の関心は低かった。これは、本学に在籍する留学生からある指摘のように、「日本人学生の語学力の不足」、「外国語使用への積極性の欠如」という現状を端的に表していると思われる。英語を共通言語として理解し、今後の医歯学領域において必要不可欠であるという認識を持たせ、学生から語学学習への積極的、主体的な取り組みを引き出す多方面からのアプローチが、今後必要であろう。

本学において今年度初めて、学部学生のタイでの短期研修プログラムが実施されたが、来年度からはコンソーシアムを形成しているインドネシア大学及びホーチミン医科薬科大学への研修も予定している。しかし、学生の意見では、北米や北欧への研修希望も多かつ

たことから、本事業の理念をより高度に実現・完遂するため、まずはオーストラリアなど英語を母国語とする環太平洋諸国へと事業を拡大していくことも視野に入れて、本事業を発展させていきたい。

本事業の目的である医歯学領域の世界展開力の強化は、この短期海外研修プログラムだけでなく、今後、開催予定のグローバルリトリートや海外同窓会支援活動の推進、国際シンポジウムの開催などと役割を補完する形で達成されるものであり、今後他のプロジェクト実施の際にも本セミナーで得た経験を活かしていくことが必要であると考えられた。

平成 25 年 3 月 1 日発行

国立大学法人 東京医科歯科大学

**世界展開力強化事業運営委員会**

「国際セミナー I」ワーキンググループ

田上順次 川口陽子 森尾郁子

小野卓史 石田雄之 竹原祥子

福井雄二 關奈央子 後藤嘉信

山本哲也 柴田真希 杜曼君



〒113-8510

東京都文京区湯島 1-5-45

国立大学法人 東京医科歯科大学

世界展開力強化事業運営委員会